

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年1月21日（火）

2 確認箇所

- ・高台凍土壁プラントエリア
- ・1／2号機共用排気筒（1／2号機開閉所前から確認）

3 確認項目

- （1）陸側遮水壁ブライントタンクへのブライン補充作業の状況
- （2）1／2号機共用排気筒解体工事の状況

4 確認結果の概要

- （1）陸側遮水壁ブライントタンクへのブライン補充作業の状況について

陸側遮水壁ブライントタンクの水位低下について、東京電力は漏えいがあった凍結管上部継手部の補修（1月17日確認）と併せて、ブラインの補充作業を実施するとしている。

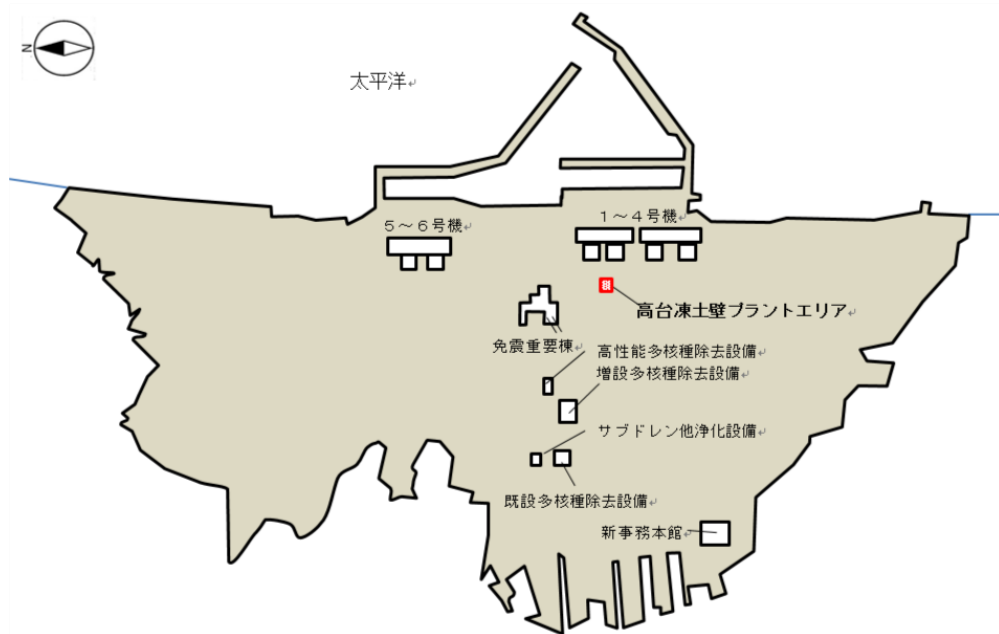
ブラインの補充作業は昨日（1月20日）に1m³補充し、本日も当該作業が予定されていたことからその状況を確認した。

- ・現場にはブラインが入ったコンテナボックス（1m³）が9基準備され、1月20日にブラインの補充が完了した空のコンテナボックスが1基見られた。（写真1）
- ・補充作業はポンプアップにより行われ、補充を行うコンテナボックス内にはホースが投入されていた。また、ブラインの補充作業に使用するポンプには受けパンが設置され、ブラインが漏れた場合に、漏えいが拡大しないよう対策がされていた。（写真2）
- ・工事用機材仮置き表示及びブラインの安全データシートが現場に掲示されていた。（写真3）

なお、東京電力によるとブライン循環ポンプ※1台（写真4）の警報（ブラインポンプ温度異常）が本日7時55分に発報され、その対応のため本日のブライン補充作業は中止となり、明日以降の作業については検討中とのことである。

※ ブラインを冷やすための設備として、ブライントタンクと冷凍機間を循環させるポンプ。当該エリアには、4台設置されており、警報発生後もブライントタンクと冷凍機間の循環は維持されている。

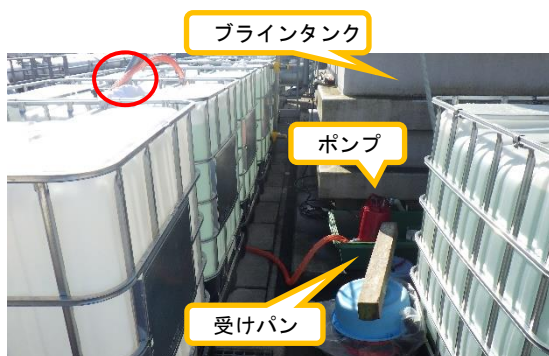
また、陸側遮水壁へブラインを送るポンプ（ブライン供給ポンプ）には問題がなく、ブライン供給は維持されている。



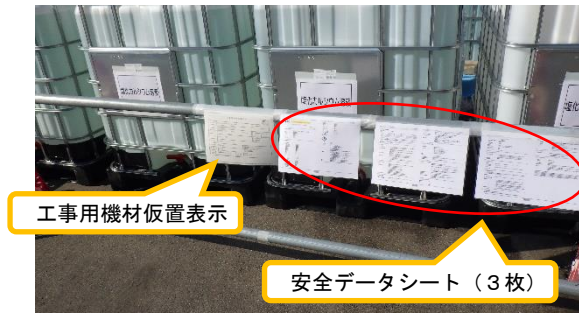
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
コンテナボックスの配置状況



(写真2)
赤丸部分からコンテナボックスにホースが投入され、ポンプによりブライタンクに補充される。



(写真3)
各種表示の掲示状況



(写真4)
外観に異常は見られなかった

(2) 1 / 2号機共用排気筒解体工事の状況について

1 / 2号機共用排気筒解体工事は昨年8月1日から作業を実施しており、排気筒上部の約60mを23ブロックに分けて解体する計画のうち、10ブロック目の解体が昨日(1月20日)から開始されたことから、状況を確認した。

- ・現地確認時(10時30分)は解体装置が吊り上げられており、切断音が聞こえた。(写真5)
- ・東京電力によると、現場確認時は西側の筒身切断(水平切り)が実施されていたとのことであった。



(写真5)
排気筒頂部の状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。